

WEST[Help](#)[Logout](#)[Main Menu](#) | [Search Form](#) | [Result Set](#) | [ShowS Numbers](#) | [Edit S Numbers](#)[First Hit](#)[Previous Document](#)[Next Document](#)[Full](#) | [Title](#) | [Citation](#) | [Front](#) | [Review](#) | [Classification](#) | [Date](#) | [Reference](#) | [Claims](#) | [KINC](#)

Entry 163 of 413

File: JPAB

Jul 20, 1983

PUB-NO: JP358122207A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 58122207 A

TITLE: ANTI-SPINNING TYRE WHICH PROTRUDES AND RETRACTS

PUBN-DATE: July 20, 1983

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

NAKAMURA, KINYA

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

NAKAMURA KINYA N/A

APPL-NO: JP57003719

APPL-DATE: January 12, 1982

INT-CL (IPC): B60C 11/16

ABSTRACT:

PURPOSE: To obtain a titled special type in place of a snow tyre and the like by a method wherein a circular groove space is provided in the peripheral direction on the contact surface between the tyre and the ground and a spinning stopper is arranged through an elastic piece so that it can protrude or retract by charging or discharging air.

CONSTITUTION: The circular groove space 2 is provided in the peripheral direction near the contact surface between the tyre 1 and the ground, while the folded elastic piece 3 is arranged in the space 2 so that each corner abuts on the inner wall of the space 2 and the spinning stopper 4 is set to the elastic piece 3. Compressed air is charged or discharged through the charge and discharge pipe 6. If compressed air is charged, the pressure in the inner space 5 increases to deform the elastic piece 3, the spinning stopper 4 protrudes from the contact surface between the tyre 1 and the earth to operate the spinning stopper performance. If the compressed air is discharged, the spinning stopper 4 sinks into the type 1 by the restored elastic piece 3 to an ordinary tyre. In this manner, a special tyre to stop spinning can be obtained.

COPYRIGHT: (C) 1983, JPO&Japio

[Main Menu](#) | [Search Form](#) | [Result Set](#) | [ShowS Numbers](#) | [Edit S Numbers](#)[First Hit](#)[Previous Document](#)[Next Document](#)[Full](#) | [Title](#) | [Citation](#) | [Front](#) | [Review](#) | [Classification](#) | [Date](#) | [Reference](#) | [Claims](#) | [KINC](#)[Help](#)[Logout](#)

BEST AVAILABLE COPY

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭58—122207

⑪ Int. Cl.³
B 60 C 11/16

識別記号

庁内整理番号
6948—3D

⑬ 公開 昭和58年(1983)7月20日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ 空転止め出沒タイヤ

⑯ 発明者 中村欽哉

弘前市若党町26の8

⑰ 特 願 昭57—3719

⑰ 出 願 人 中村欽哉

⑱ 出 願 昭57(1982)1月12日

弘前市若党町26の8

明 細 書

1 発明の名称

空転止め出沒タイヤ

2 特許請求の範囲

タイヤの接地面に近い内部に周方向にほぼ環状の空間を設け、この空間の内部に折れ曲がった弾性体をもって支持する空転止めを接地面に向けて設け、この弾性体と空間の内壁とによって構成される内部空間に空気給排管を連結した空転止め出沒タイヤ。

3 発明の詳細な説明

本発明は、スノータイヤ、スパイクタイヤ、チェーン、ネット等の代わりに、空転止めをタイヤ内に収納し、必要時に空転止めをタイヤの接地面外に突出する方式のもので、スパイクを含む任意の空転止めを、折れ曲がった弾性体に設け、この弾性体をタイヤの接地面に近い内部に周設した空間の内部に設け、この弾性体の内部空間に圧縮空気を供給する事によって空転止めを突出し、排気する事によって弾性体の復元

により空転止めを引っ込める様にした空転止め出沒タイヤにかかわるものである。

図面において、1は自動車のタイヤで、その接地面に近い内部に周方向にほぼ環状の空間2を設け、この空間2の内壁に折れ曲がった弾性体3をこの弾性体の各々の端部をもってほぼ環状に周設し、この弾性体3に空転止め4を接地面に向けてかつ空間2の内部に有る様に設け、空間2と弾性体3とによって構成される内部空間5に空気給排管6を連結して完成する。

第1図は空転止め4を空間2の内部に収納した状態を示すものであるが、この状態から空転止め4を突出するには、図示矢印の方向に圧縮空気を内部空間5内に供給すれば、その圧力によって弾性体3は変形して第2図に示す通り空転止め4をタイヤ1の接地面外に突出するから、内部空間5内に圧縮空気の存在する限り、空転止め4は第2図の状態を保持して所要の作用効果を行ない、空転止めの必要無きに至れば、内部空間5の圧縮空気の排気によって弾性体

3の復元により空転止め4は第1図の原状に戻るものである。

この時、空転止めの材質はゴム・プラスチックなど任意で、その形・大きさ・数なども限定しない。

また第1図の状態において、弾性体の各々の端部は空間の内壁のどの位置に設けても良い。弾性体の設け方は、空間の内壁に弾性体の各々の端部が嵌合する様にして設けても良いし、弾性体の各々の端部を弾性体によって連ねて弾性体の内部空間を管状に気密して空間の内部に設けるなど任意の方法によって内部空間を構成する。

なお、弾性体の折れ曲がり方は空転止めが空間の内部に収納される限りにおいてどの様に折れ曲がってもよい。

以上の通り本発明は圧縮空気による弾性支持体の変形によって空転止めを突出する極めて容易に実施し得るものである。

4 図面の簡単な説明

(3)

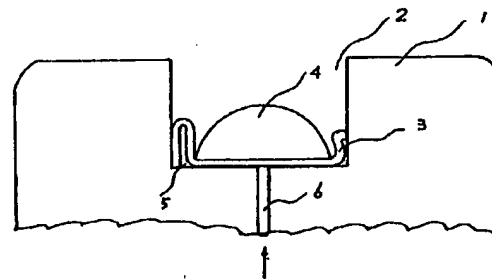
図面は本発明の空転止め出役タイヤの要旨を簡明に表わすために、タイヤおよび空転止め出役機構をすべて線図的に示したもので、第1図は空転止めが引込んだ状態を示し、第2図は空転止めが突出した状態を示すものである。

特許出願人

中村 敏 哉

(4)

才 / 図



才 2 図

